



岡山大学とSDGs情報発信に関わる 連携と協力に関する協定を本日締結

報道関係各位

岡山放送株式会社（本社：岡山市北区下石井、以下OHK）と国立大学法人岡山大学（本部：岡山市北区津島中、以下岡山大学）は、国連サミットで採択された持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）の達成に向けた情報発信に関する連携と協力に関する協定を本日締結しました。

本協定では、双方で行うSDGsの達成に向けた取り組みや、地域を巻き込んだSDGs達成に関する取り組みなどの情報共有に努めるとともに、情報発信を中心とした分野において緊密に連携していくことにより、SDGsのより一層の推進ならびに情報バリアフリー社会の実現を図ることを目的としています。

本日開催された調印式は、OHK新本社9階の多目的ホール「KURUN HALL」にて、多くの関係者が見守る中、岡山大学 榎野博史学長とOHK中静敬一郎社長が協定書に署名を行いました。



調印式の様子
右：岡山大学榎野学長
左：OHK中静社長

具体的な協力内容は、

- 1) 双方で行うSDGsの達成に向けた取り組みに関すること
- 2) 地域を巻き込んだSDGs達成に関する取り組みに関すること
- 3) 相互のプラットフォームを活用した国内外へのSDGsに関する発信
- 4) その他両者間で必要と認めるSDGsの普及啓発および達成に向けた取り組みに関すること

以上4点について、相互に連携して情報発信を行ってまいります。

岡山大学の榎野学長は「本学の情報バリアフリーを目指す取り組みには50年近い歴史と実績があり、今回の岡山放送からの声かけも単なる偶然ではなく、運命的なものを感じている。」と挨拶し、本協定で地域を代表する大学と放送局との連携に期待を寄せました。

また、調印式後には双方の取り組みを発表する場が設けられ、岡山大学病院の片岡講師から『聴覚障がい者共生の実現に向けた情報バリアフリー社会の構築について』が、OHK報道部の竹下記者から『OHKの情報バリアフリーへの取り組み』が紹介されました。岡山大学が取り組んできた難聴児教育支援と、OHKが28年間取り組んできた情報のバリアフリーの取り組みが出会ったことにより新たな連携が始まり、今回の協定締結に至ったことが説明されました。

本協定に先駆けて、9月14日には夕方のニュース番組『OHK Live News（月～金 18：09～19：00）』で岡山大学病院の難聴児に対する医療・教育連携に向けた取り組みを放送しました。

（当日のニュース映像 <https://www.ohk.co.jp/data/12103/pages/>）
今後も不定期シリーズとして取材、放送を続けてまいります。



9/14ニュース特集枠での放送

【本件に関する問合せ】

岡山大学 総務・企画部社会連携課 真田

086-251-8374

岡山放送 企業広報担当 福田 086-941-8881